

地域総出の思い出づくり



①堂々とした入場行進を行う児童たち
 ②赤組、白組合同の息のあった応援合戦
 ③ゴールする幼稚園児のかけっこ
 ④幼稚園児らによるかわいいバルーン体操
 ⑤へぐしソーランを踊る児童とPTA、地区住民ら
 ⑥観客席から笑いと拍手がわいた仮装行列



平成25年4月に、獅子島小学校と統合し、移転する幣串小学校（坂元英透校長）と幣串幼稚園（同園長）の閉校記念秋季大運動会が、10月14日に開催されました。

この日は、全校児童10人と全園児14人、保護者、地域の住民らに参加したほか、以前幣串小学校に勤務していた教職員8人、同校の卒業生23人も島外から駆けつけ、最後の運動会を楽しみました。

開会式で6年の荒田桃子さんと5年の池田憲亮くんは「最後までがんばりましょう」と元気よく誓いの言葉を述べ、全員で「運動会の歌」を元気よく熱唱しました。

競技は、赤組と白組に分かれた児童たちのエール交換で幕を開けました。最後の運動会ということ、かけっこや親子競技、紅白対抗リレーなどのほか、閉校記念特別種目も準備され、両者がお互いの容器にもちを投げ入れる、もち投げリレーやさまざまな様に変装した仮装行列、卒業生によるリレーなどが行われ会場は大いに盛り上がりました。このほか、児童とPTA、校区民ら計80人によるオリジナルの踊り「へぐしソーラン」では児童らが伝統の大漁旗で作った色とりどりの半被姿で登場。途中で、児童一人一人がマイクを握り「幣串小ありがとう」とメッセージを送り、最後は会場内に紙吹雪が舞いました。このほか高齢者による宝探しに婦人会による障害物競走などもあり、応援席からたくさんの声援が送られました。

大会の最後は、くす玉割りや来場者全員で写真撮影を行い、伝統の幣串小学校の運動会を閉幕しました。

閉校、移転後の新たな獅子島小学校と獅子島幼稚園は、片側集落の獅子島中学校内に併設されることとなります。